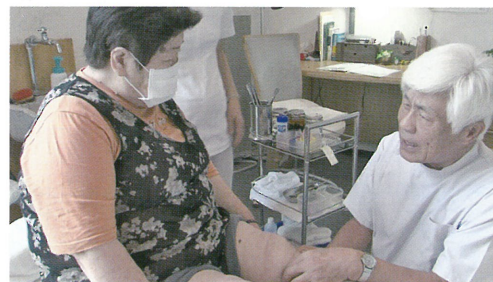


いっしょに悲しみ、  
いっしょに喜び、  
いっしょに笑う。

医療、それは患者さんと共に生きること—

## 地域医療のパイオニア、 増田進が体現する医療とは？



増田 進—患者さんとゆっくり向き合う医療をしたい、患者の顔が見える取組みを進めたいと、自身が経営する「緑陰診療所」を開業している。そこには増田先生の医療を求めて、全国各地から患者さんが集まって来る。多くが、複数の医療機関をまわり、現代の医療に絶望した人たちだと言う。先生は、制度や器械から離れ、もう一度、素手による『触診』の医療を行っている。かつて、全国に先駆けて老人医療費の無料化や乳児死亡率ゼロを実現し、「保健の村」として名を馳せた岩手県の旧・沢内村（現・西和賀町）の医療活動に従事し、地域医療のパイオニアとして名を馳せた増田進が体現する医療の本質とは？



高齢者世代が増大しながらも、社会保障費の削減が進む日本—医療が国民全体の重要な問題となる今、『森の診療所の終の医療』（講談社）で注目される活動を映像で追った「地域包括医療」を考える貴重なヒューマン・メッセージ！

記録映画『いのちの作法』誕生から8年—  
沢内村とつながり続けてきた  
都鳥伸也監督、都鳥拓也カメラマンの贈る最新作！

増田先生は私にとって理想的な人間像です。この映画は、その魅力を伝えるために、極力、ナレーションでの誘導や演出をさげ、まるで先生と一緒に会話しているような気持ちになれるようにと、現場の音を大切に制作しています。この映画には答えや結論はありません。もちろん大きな事件や事故もありません。いわば“平熱”の映画であり、私たちと先生がともに過ごした時間の記録です。先生の一挙手一投足が、医療という枠を越えて、これからの社会を考えるきっかけになってくれれば嬉しいです。

『増田 進 患者さんと生きる』監督 都鳥伸也

### COMMENTS

皮肉なことだが、「医療そのものが病んでいる」と思う。これを癒せるのは、行政でもなければ医者でもない。素直な患者さんたちの声である。医療保険制度の問題だろうか？

制度とは、規制の形にすぎないのだ。国が経済的な理由などで制度を見直すたび、規制がますます細かく、窮屈になっていく……。これから医療も、福祉も、教育も、形でなく、心のこもったものになる時代が来ればと願っている。

増田 進 (医師・本作主人公)

患者さんに対する増田進の姿勢はとても勉強になる。つねに笑顔で、何らかの方法で患者さんと触れ合おうとする。「痛いよな」「つらいよな」など、患者さんの置かれた状況に時折共感する。病は、治療で治らない場合もある。そんなときも、みごとに患者さんに寄り添おうとしている。それぞれの地域の特質性に合わせつつ、医療の原点である患者さんとの一対一の関係を、80歳を過ぎた今もみごとに展開しようとしている。医療の原点がここに見える。

「増田進はやっぱり神様だ」と、この映画を見て、あらためて思った。

鎌田 實 (医師・作家)

死に方も、生き方も、様々になっていきます。医療技術はまだ進化を遂げるだろうけれども、増田医師の続けて来られたような、苦痛の瞬間以外の場面でも日常的につながっている医療の豊かさが、こうして若い世代にも見直されています。老いや病とともにあるべきものは、先進的な技術か、それとも肌に触れられ、話に耳を傾けてもらうことなのか。その価値観は、私たちが老いを迎える頃には、180度変わっているかも知れないと思います。

西川美和 (映画監督)

# 増田 進

## 患者さんと生きる

都鳥伸也 監督作品

企画・製作 都鳥拓也 | 都鳥伸也 監督 都鳥伸也 撮影・編集 都鳥拓也 整音 若林大介 音楽 柴田晃一 ナレーター 大久保千紗 タイトルデザイン 堤岳彦 (ebc) 予告編制作 株式会社 アクオリア 配給協力 イメージサテライト 製作協力 株式会社 風製作・配給 有限会社 ロングラン 映像メディア事業部

2016年 | HD | 96分 | ドキュメンタリー <http://longrun.main.jp/masuda-film>

LONGRUN  
映像メディア事業部

3/19(土)より 大阪・十三シアターセブンにて 公開

### ■上映時間

3/19(土)~3/25(金) 10:30

3/26(土)~4/1(金) 12:25

4/2(土)~4/8(金) 13:55

■料金 一般1,500円/シニア1,100円

淀川文化創造館

シアターセブン

大阪市淀川区十三本町1-7-27 サンボードシティ 5F

TEL 06-4862-7733

<http://www.theater-seven.com/>

[info@theater-seven.com](mailto:info@theater-seven.com) @juso\_theater7



『対話と触診の医療』を続ける八十歳の医師の姿を追った  
心温まるドキュメンタリー映画が、ついに完成！